

<原稿の種別> ←10.5pt・MS ゴシック・左詰め

『研究論集』原稿作成要領

←14pt・太 MS ゴシック・中央

—オンラインジャーナル版—

←12pt・太 MS ゴシック・中央

1行スペース

複数執筆者の氏名と

長野太郎

信州大学学術研究院教育学系

所属の先頭をそろえる→

善光寺太郎¹

信州大学大学院教育学研究科

←12 pt・太 MS ゴシック・中央

1行スペース

キーワード：信州大学，教育学部，研究論集，原稿，作成要領

←10.5pt・MS ゴシック・中央

1行スペース

1. はじめに ←章見出し・10.5pt・MS ゴシック・左詰め

本誌はオンラインジャーナルとして発行し，本学部専用サイト及び信州大学機関リポジトリからインターネットを通じて公開される。

原稿は **A4 サイズ** を用いて作成し，枚数は原則として **20 ページ以内** とする。

余白は **天 35mm**，**地 30mm**，**左右 30mm** とする。

和文は横書きの場合，原則として，**本文が MS 明朝 10.5pt**，**1行 40 字×36 行程度** とし，句点は[。]，読点は[，]を用いる。縦書きの場合，1行 32 字×21 行程度の上下 2 段構成（段間 10mm 程度）とし，その他の書式は横書きの場合に準ずる。本文中の英文字とアラビア数字のフォントは Times New Roman で統一すること。

1行スペース

2. タイトル・副題・氏名・所属の書き方

←章を変えるときは 1 行スペースをあける

原稿 1 ページ目の 1 行目に原稿の種別（学術論文，実践研究，研究報告，実践報告，資料紹介，等）を<>囲みで記入する。2 行目に原稿の題目（副題がある場合には 3 行目），1 行空けて執筆者名と，投稿時または受理時の所属（本要領の記載例のとおり本学在籍時の所属を書き，異動後の所属を脚注に示すことも可），1 行空けてキーワード（3～5 語），1 行空けて本文を書き始める。フォント等は上記の網掛けの指示に従うこと。

1行スペース

3. 見出しおよび図表について

3.1 見出し ←節見出し・10.5pt・MS ゴシック・左詰め

←節の場合は上 1 行スペースをあげない

本文を章，節，項に区切る場合は，章の見出し番号は **1. 2. …**（全角），節の見出し番号は **1.1 1.2 …**（半角），項の見出し番号は **(1) (2) …**（半角）とし，行の左から MS ゴシックで書き，本文はこれと行を変えて 1 コマ空けて書き出すものとする。

(1) 見出しの早見表 ←項見出し・10.5pt・MS ゴシック・左詰め

←項の場合も上 1 行スペースをあげない

以上をまとめると，表 1 のようになる。

¹ 現所属：信州大学教育学部附属長野小学校

表1 見出し表記のしかた

←表の題 9pt・MS 明朝

章の見出し番号	1.	2.	… (全角)	MS ゴシック	10.5pt
節の見出し番号	1.1	1.2	… (半角)		
項の見出し番号	(1)	(2)	… (半角)		

(注) 英文見出しのフォントは Arial にする。

←表の注 9pt・MS 明朝

3.2 図および表

図（写真を含む）および表は本文中の適切な位置に貼り込むこと。カラー図表・画像も掲載できる。原則として図表に枠は付けない。

図の題は図の下に、表の題は表の上に、9pt MS 明朝を用いて付けること（図表の注も 9pt MS 明朝）。



図1 レンガ庫内の長野師範学校蔵書

←図の題 9pt・MS 明朝

4. 文献と注の書き方

4.1 本文中での引用のしかた

基本的に、一貫性のある、合理的な書き方をしていること。なお、バンクーバースタイルを使用する場合は上付き半カッコ数字を付ける。

一貫性や合理性において十分ではない、または恣意的であると考えられる場合は、研究委員会において合議し投稿者に修正を求めることがある。

● 著者名の表記文字を利用した引用の例

執筆者と発行年を記し、特に文章を直接に引用した場合は該当ページも示すこと。

同じ執筆者が、同じ発行年に複数の論文を発表し、両方を引用する場合は、発行年の後に、a, bなどを付けて区分すること。（次の例参照）

Smith (2009), 山田 (2010a, 2010b) によれば、・・・

小林 (2011) が提唱する献立 (p. 90) は、・・・

近年、「児童において・・・が見られる。」(鈴木, 2005, p. 58) ※「 」内が直接引用

4.2 本文中での注番号の書き方

注番号は、上付きとし、アラビア数字を用いる。半カッコを付けない。

本稿では高学年に限定して記述した¹。

4.3 脚注

脚注を設ける場合には、実線によって本文と区別し、9pt MS 明朝を用いて、行間は本文の80%程度とする。

5. 提出書類

下に示すものを電子メールで本学部図書館主査に提出すること。審査または校閲後は執筆者による校正の機会はないので、誤字・脱字などがないように慎重に作成すること。

(1) 提出届（所定の様式）

(2) 原稿（Word 及び PDF ファイル形式。PDF ファイル形式のファイルを提出できない場合には、紙媒体で提出する、又は図書係に相談すること。）

(3) チェックリスト（所定の様式）

6. その他

研究委員会で、完成原稿にランニングヘッド、通しのページ番号、受付・受理年月日を挿入する。ランニングヘッドは提出届の所定欄に記入すること。タイトルが長い場合は、和文は概ね 25 文字、欧文は概ね 50 文字以内に省略する。

1 行スペース

注

←見出し・10.5pt・MS ゴシック・中央

注はこの位置に置く。MS 明朝 10.5pt。

● 「注」の書き方

注

¹ 低学年のケースは他書を参照されたい。

1 行スペース

謝 辞

←見出し・10.5pt・MS ゴシック・中央

謝辞は「注」と「文 献」の間に置く。MS 明朝 10.5pt。

1 行スペース

文 献

←見出し・10.5pt・MS ゴシック・中央

基本的に、一貫性のある書き方をしていること。章の見出しは「文 献」とする。各研究領域の慣習や原稿作成要領により「引用文献」あるいは「引用文献・参考文献」とする

ことも可。ただし、本文中では触れていないが論文作成に関係しているものとして初出の文献を掲載する場合は、本文中で触れた文献リストの後に記し、その旨末尾にカッコ書きで付記する（例えば「関係論文」など）。

文献リストのフォントは MS 明朝（英文の場合は Times New Roman）で 10.5pt。

●上記 4.1 「著者名の表記文字を利用した引用」に対応した「文献」の書き方の例

文 献

小林一郎 (2011). *四季の食事*. 盛夏出版.

Smith, M. (2009). The effects of supports. *Journal of Life*, 41, 300-315.

鈴木花子 (2005). 食と創造性. *食育研究*, 30, 55-65.

山田太郎 (2010). 夜食の分析：大学受験生を対象に. *食育研究*, 35, 100-110.

Zed, A. (1995). *Writing academic papers*. Shinano University Press.

※ 上の例は和書・洋書を混ぜて ABC 順に並べている。和雑誌では「あいうえお」順をとる例もある。

著書全体・論文全体の所蔵情報を掲載する。本文中で特定のページを引用した文献も載せる（ただし引用したページ番号は本文中に明示）。著書タイトル、掲載雑誌タイトル（論文タイトルではない）は斜体を用いる。日本語論文タイトルは「」で、和雑誌タイトルは『』で括ってもよい（上の例では英語にあわせて斜体を用いている）。

※ 上の例は数多の学術誌のほんの一例。たとえば、発行年を当該行の末尾に置く例もあるので、それぞれの原稿投稿者が所属する学会の学術誌の書式に従うこと。

1 行スペース

付 記

←見出し・10.5pt・MS ゴシック・中央

付記は最後に置く。MS 明朝 10.5pt。

【英文論文の例】

<Article Type> ←10.5pt, Arial, left aligned

Main Title of the Article: ←14pt, bold, Arial, centering

Subtitle of the Article ←12pt, bold, Arial, centering

1 blank line

NAGANO Taro Faculty of Education, Shinshu University ←12pt, bold, Arial, centering

ZENKOJI Taro Nagano Elementary School, Shinshu University

1 blank line

Keywords: Shinshu University, Education, Journal, paper, format ←10.5pt, Arial, centering

1 blank line

1. Introduction ←Heading, 10.5pt, Arial, left alignment

The font for the body is Times New Roman (10.5pt).

英文の場合、原則として本文のフォントは Times New Roman で 10.5pt, 1 行 80 字×36 行程度とする。和文の MS ゴシックに相当するフォントとして Arial を用いる。

タイトル等は上記の網掛けの指示に従うこと。英文名は、姓、名の順番とし、姓は全て大文字、名は語頭を大文字以下小文字とする。

章などの見出しは Arial とし、その他の書き方は和文に準ずる。

執筆者の責任において、母語話者のチェックを行うこと。

以上